



02_ユーザースタイル

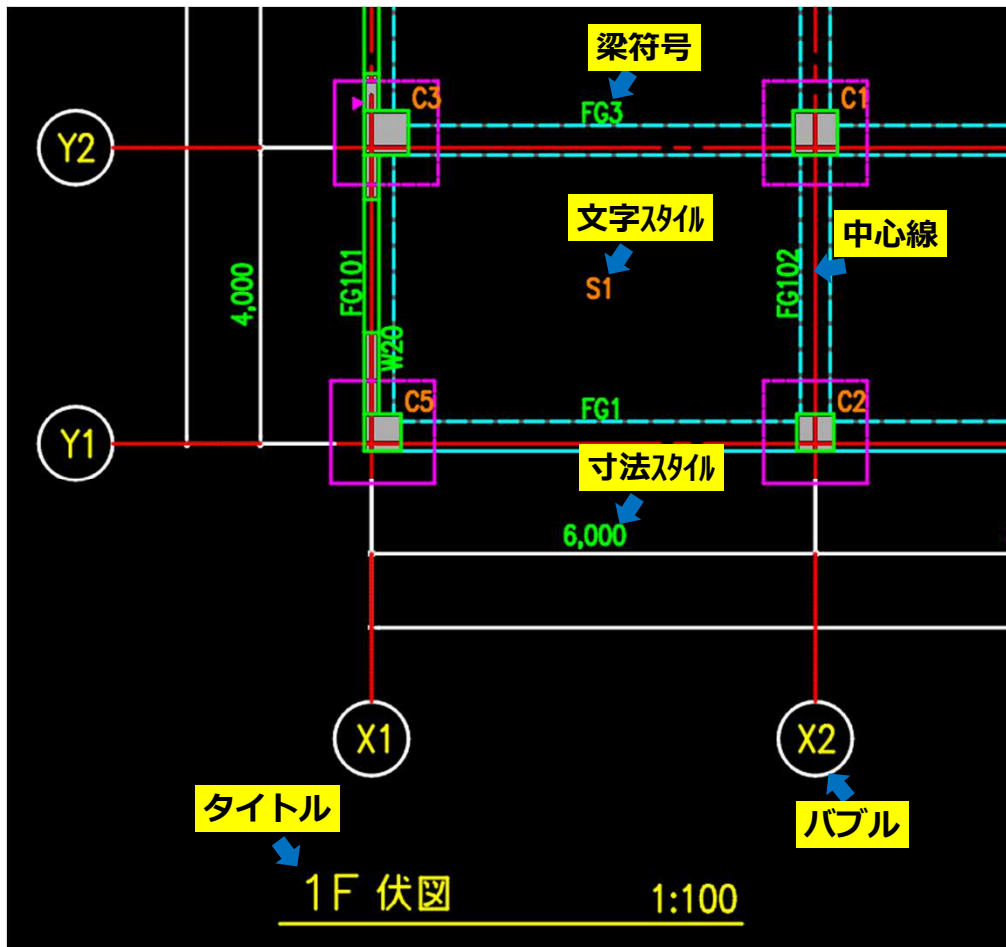
Drawingではオプションテンプレートの線種や色をカスタマイズすることが可能です。
この「02_ユーザースタイル」は、あるユーザー様の図面スタイルに近づけて自動生成するようにカスタマイズしてあります。

オプションテンプレートを含むサンプルファイルをファイルダウンロードからダウンロードして、各場所へ設置してください。

また、このオプションテンプレートは、Drawingに標準搭載されていないフォントを使用しています。詳しくは、「フォントの設置」をご覧ください。

| 生成例

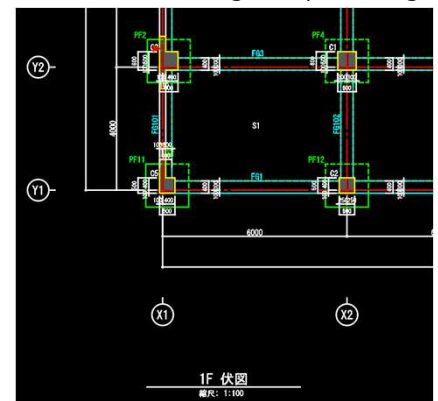
■ 伏図



主な変更場所		midasスタイル	02_ユーザースタイル
文字スタイル	文字フォント	MSゴシック	romans.shx
文字高さ	部材符号	2mm	2.5mm
	タイトル	3.5mm、2mm	4.5mm、3.5mm
	バブル	3mm	3.5mm
寸法スタイル	寸法値	MSゴシック	romans.shx
画層名	中心線	G-AXIS-CEN	1C
	梁符号	S-GIRDER-SYM	F
	タイトル	G-VIEW TITLE-SYM	TITLE (0)
	バブル	G-AXIS BUBBLE-SYM	T (0)

■ midasスタイル

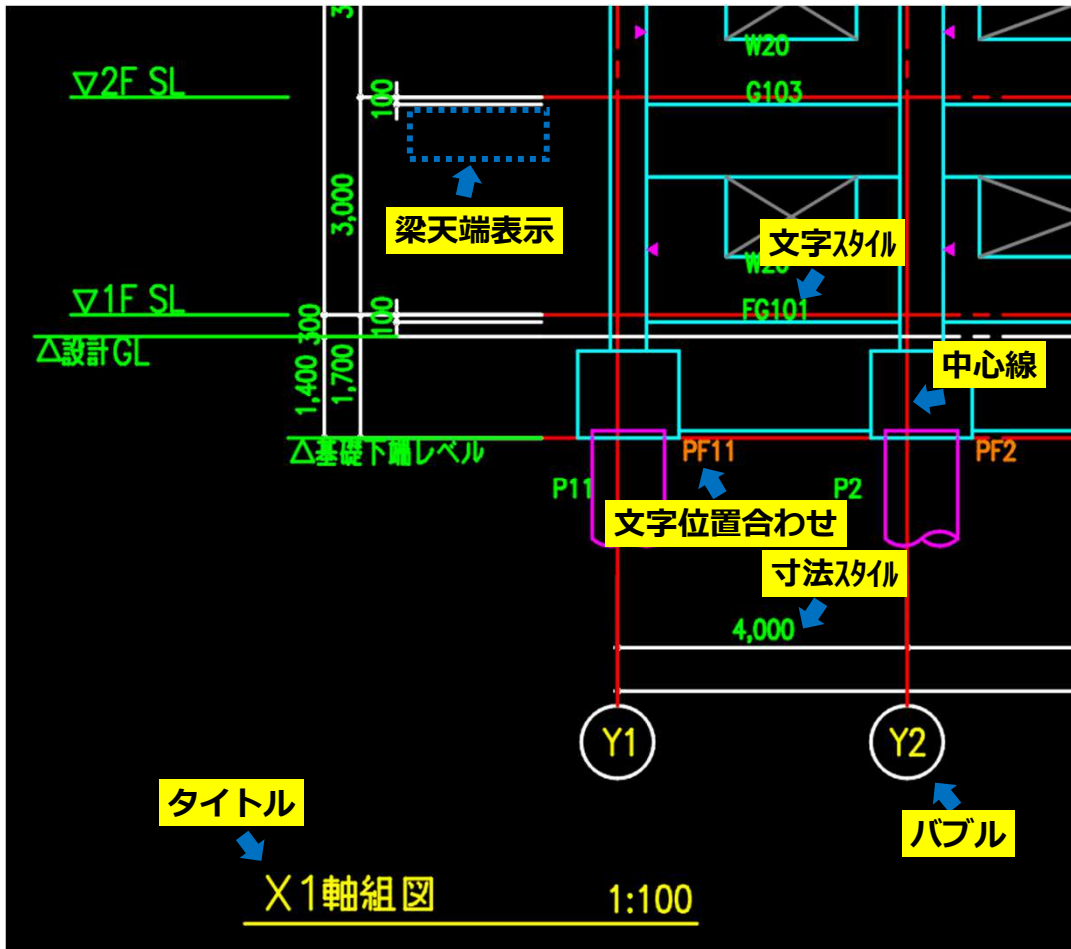
Standard Drawing Template.dwg





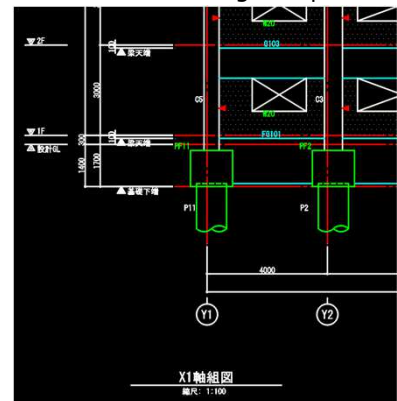
02_ユーザースタイル

■ 軸組図



主な変更場所		midasスタイル	02_ユーザースタイル
梁天端表示		表示する	表示しない
基礎文字位置合わせ		左上	右下
文字スタイル	文字フォント	MSゴシック	romans.shx
文字高さ	文字フォント	MSゴシック	romans.shx
	部材符号	2mm	2.5mm
	タイトル	3.5mm、2mm	4.5mm、3.5mm
	バブル	3mm	3.5mm
寸法スタイル	寸法値	MSゴシック	romans.shx
画層名	中心線	G-AXIS-CEN	1C
	梁符号	S-GIRDER-SYM	F
	タイトル	G-VIEW TITLE-SYM	TITTLE (0)
	バブル	G-AXIS BUBBLE-SYM	T (0)

■ midasスタイル
Standard Drawing Template.dwg





02_ユーザースタイル

1 ファイルの設置

プログラムを立ち上げてからオプションテンプレートを配置してもデータは反映されません。
サンプルファイルをダウンロードし、Drawingを閉じた状態で、各ファイルの設置を行ってください。

① サンプルファイルをダウンロード

ページ右下の「ファイルダウンロード」をクリックし、 任意の位置にダウンロード

② 圧縮ファイルを展開(解凍)

圧縮(ZIP形式)ファイルを展開(解凍)

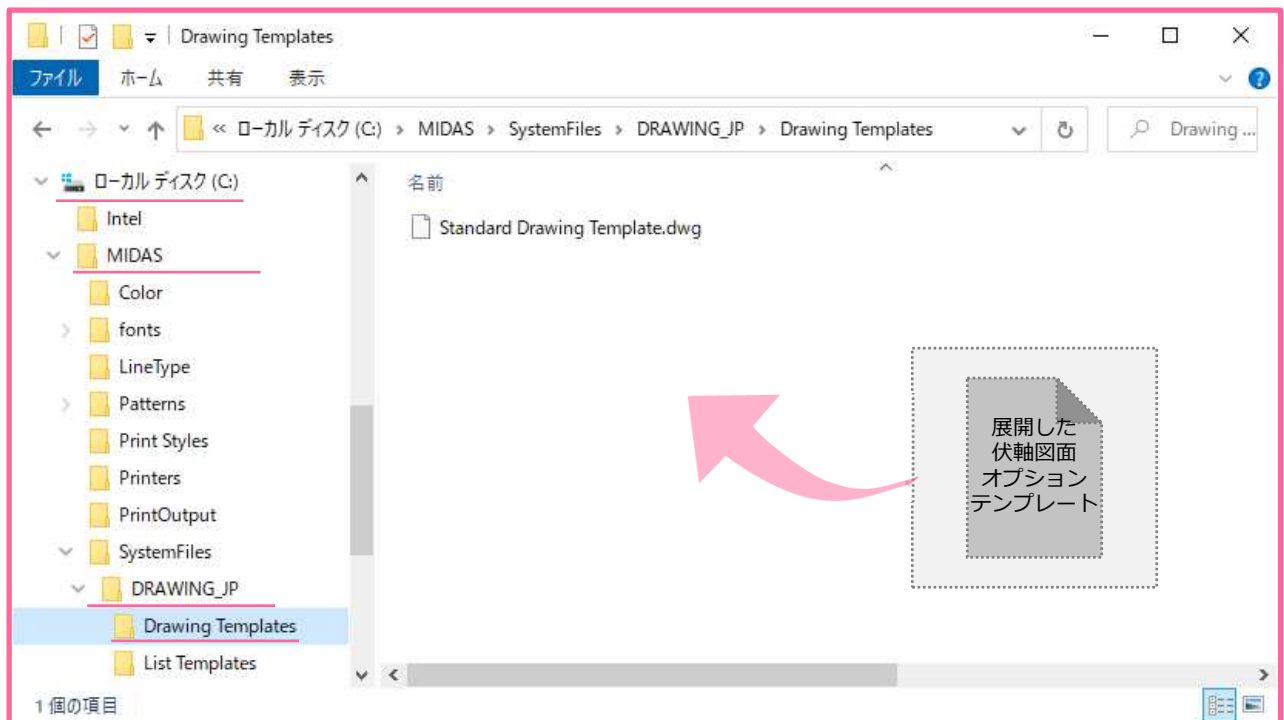
※サンプルファイルには、下記ファイルが入っています。

- ・ 伏軸図面オプションテンプレート : 02_UserStyle-Standard_V231R9.dwg
- ・ 印刷スタイル : 02_UserStyle.ctb
- ・ ラインタイプ : 02_UserStyle.lin
- ・ サンプル図面 : 02_ユーザースタイル-サンプル図面[1階伏図,Y1軸組図].pdf
- ・ 生成例と使用方法 : 02_ユーザースタイル-生成例と使用方法[伏軸図面用].pdf

③ 伏軸図面オプションテンプレートの設置

展開したオプションテンプレートファイルを下記フォルダに設置

設置場所 : C:¥MIDAS¥SystemFiles¥DRAWING_JP¥Drawing Templates
オプションテンプレート : 02_UserStyle-Standard_V231R9.dwg



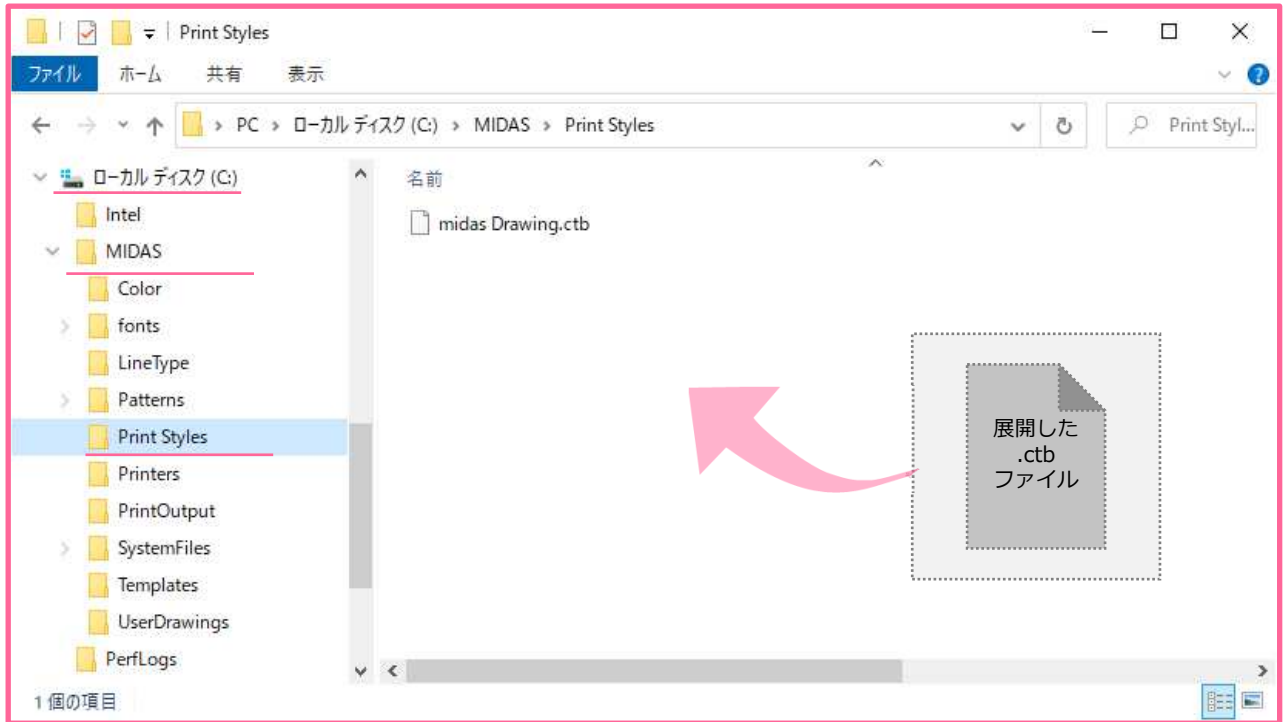


02_ユーザースタイル

④印刷スタイルの設定

展開した印刷スタイルファイルを下記フォルダに設置

設置場所 : C:¥MIDAS¥Print Styles
 印刷スタイル : 02_UserStyle.ctb



■主な色従属印刷スタイル内容

印刷スタイル	色	線の太さ	印刷時の色
Color_1	red	0.09	black
Color_2	yellow	0.3	black
Color_3	green	0.25	black
Color_4	cyan	0.2	black
Color_5	blue	0.09	black
Color_6	magenta	0.2	black
Color_7	white	0.2	black
Color_8	8	0.09	black
Color_9	9	オブジェクト線の太さ使用	オブジェクトカラー使用
Color_20	20	オブジェクト線の太さ使用	black
Color_30	30	0.25	black

※midas Drawingでは、画層の色によって印刷時の線の太さを決定します。
 ただし、線の太さ設定が「オブジェクト線の太さ使用」となっている色は、
 作業空間で指定した線の太さで印刷されます。

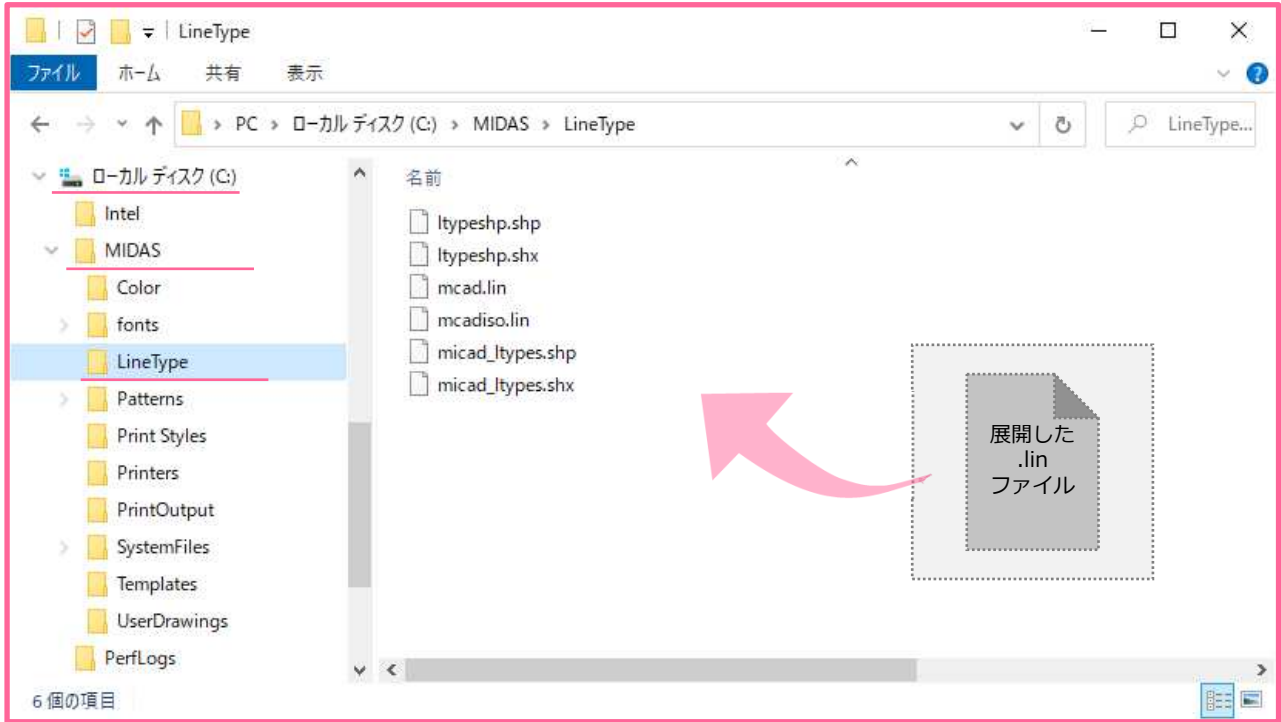


02_ユーザースタイル

⑤ ラインタイプの設置

展開したラインタイプファイルを下記フォルダに設置

設置場所 : C:¥MIDAS¥LineType
 ラインタイプ : 02_UserStyle.lin



■ 主なラインタイプ内容

線種	形状	説明	主な使用オブジェクト
1C	— — — — —	一点鎖線	中心線
1D	— — — — —	間隔の短い一点鎖線	開口線
4B	- - - - -	破線	RC梁陰線
H1	-----	破線-間隔1mm	梁ハッチング
H2	- - - - -	破線-間隔2mm	鉄骨梁



02_ユーザースタイル

フォントの設置

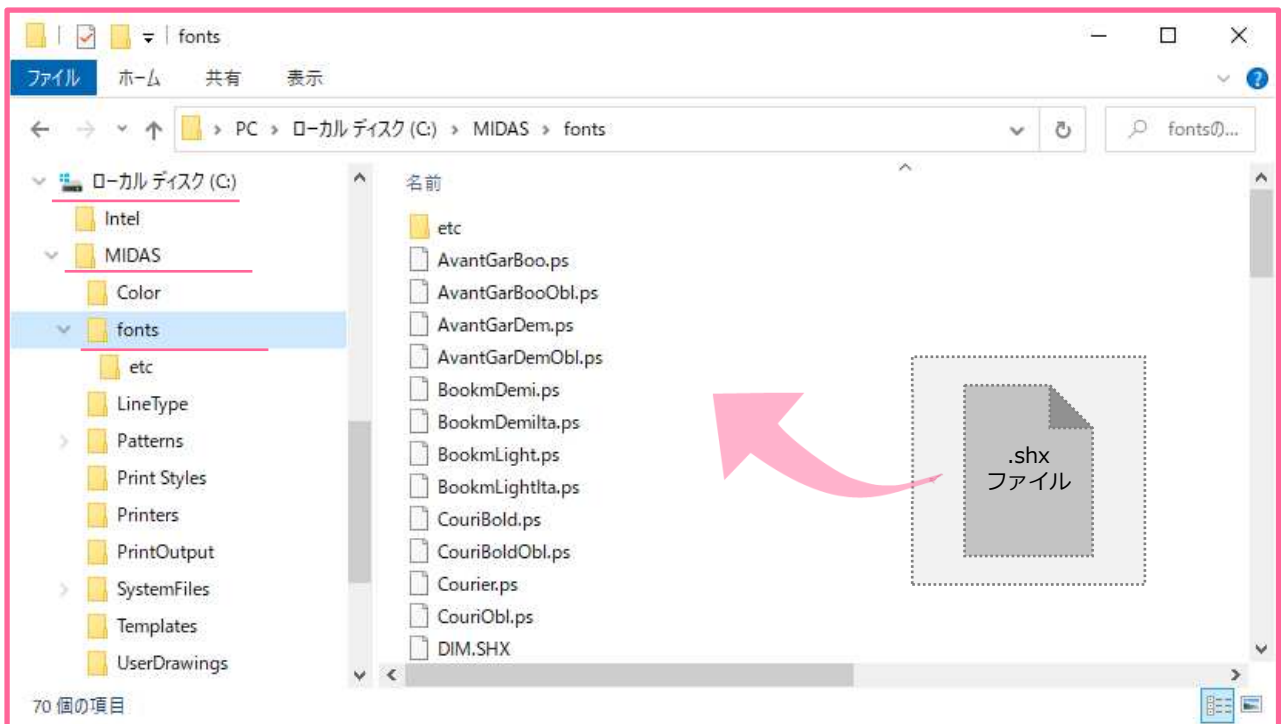
このオプションテンプレートで使用しているフォントは、Drawingに標準搭載されていません。
使用shxファイルを下記のフォルダに設置する必要があります。

未設置の場合、代替フォントで表示されたり、文字化けが発生します。

使用している romans.shx、bigfont.shxファイルをお持ちでしたら、下記フォルダにshxファイルを
設置してください。

お持ちでない場合は、ご自身でshxファイルをweb検索にてダウンロードして設置してください。
フォントファイルの設置は、Drawingを閉じた状態で行ってください。

設置場所 : C:¥MIDAS¥fonts
使用.shxファイル : romans.shx 、 bigfont.shx





02_ユーザースタイル

|現在のテンプレートに設定

設置したオプションテンプレートを使用するには、図面生成前にそのテンプレートを「現在のテンプレートに指定」する必要があります。

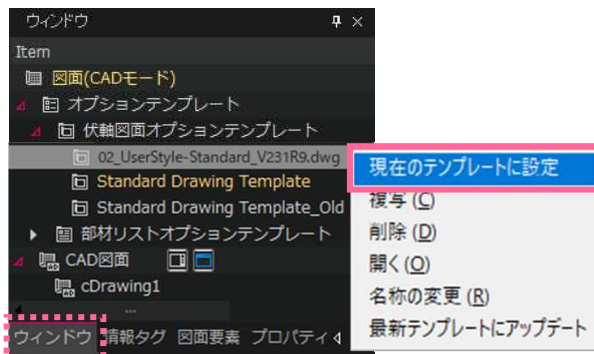
①Drawingを立ち上げる

※プログラムを立ち上げてからオプションテンプレートを配置してもデータは反映されません。



②現在のテンプレートに設定

※ツリーメニュー > ウィンドウ > 伏軸図面オプションテンプレート > 設定するテンプレート上で右クリック > 「現在のテンプレートに設定」クリック





02_ユーザースタイル

「02_ユーザースタイル」で図面生成

「構造図面生成マネージャー」では、オプションテンプレートでは設定できない、図面の表現方法を設定します。ここでは、02_ユーザースタイルに近づけて生成するための設定方法を紹介します。先に図面生成の流れを説明した後に、構造図面生成マネージャーの設定方法とレイアウト調整を紹介します。

①eGenファイルを開く

構造図面生成マネージャーを使用するには、eGenファイルをDrawingに読み込む必要があります。
[メニュー]>[図面生成]>[eGenファイルを開く]をクリック

②構造図面生成マネージャーを設定

「構造図面生成マネージャー」では、オプションテンプレートで設定できない、図の表現方法を設定します。一般階と屋根ではブレースの表現方法が異なったり、伏図と軸組図では切断面の区分表現が異なります。その場合、図面ごとに構造図面生成マネージャーの設定を変更して、一枚一枚生成することも必要です。
[メニュー]>[図面生成]>[構造図面生成マネージャー]をクリック

- ・伏図の設定_RC造 P.9
- ・軸組図の設定_RC造 P.10
- ・S造_伏図の設定 P.11
- ・S造_軸組図の設定 P.12



※構造図面生成マネージャーの設定について、詳しくは下記をご覧ください。

操作の学習 > 基本操作編 > 構造図面の自動生成 > 伏図の生成 > 7.オプション設定-構造図面生成マネージャー
軸組図の生成 > 7.オプション設定-構造図面生成マネージャー

③図面生成

[メニュー]>[図面生成]>[伏図を生成]をクリック
[軸組図を生成]をクリック

※構造図面の自動生成について、詳しくは下記をご覧ください。

操作の学習 > 基本操作編 > 構造図面の自動生成 > 伏図の生成 または 軸組図の生成

④レイアウト調整

自動生成モードで[移動]コマンドなどCAD機能を使用し、レイアウト調整を行います。

※レイアウト調整について、詳しくは下記をご覧ください。

操作の学習 > 基本操作編 > 構造図面の自動生成 > 伏図の生成 > 4.レイアウト調整
軸組図の生成 > 4.レイアウト調整



02_ユーザースタイル

構造図面生成マネージャーの設定

■ 伏図の設定_RC造

位置	チェック有無・数記入	備考
①	有	
②	-	
③	-	
④	-	
⑤	-	
⑥	-	RC材は非対応
⑦a	有	区分しない
⑦b	有	柱を区分する
⑧	有	部材寸法を非表示
⑨	-	
⑩	左下参照	
⑪	-	

※Drawingでは、スラブと梁のレベル段差をハッチングを用いて表現します。各階の基準レベルは0段目となります。基準レベルより1段高いレベル段差は「1段目」となり、低い段差は「-1段目」のハッチングパターンを適用します。ご自身で調整してお使いください。

※構造図面生成マネージャーの設定について、詳しくは下記をご覧ください。

操作の学習 > 基本操作編 > 構造図面の自動生成 > 伏図の生成 >

7.オプション設定-構造図面生成マネージャー



02_ユーザースタイル

■ 軸組図の設定_RC造

構造図面生成マネージャー

伏軸図面 部材リスト

部材の形状表現

- 伏図に陰線を図化しない
- 伏図に鉄骨ブレースを単線で図化する
- 伏図にブレースを図化しない
- 切断位置ラインにかかるブレースを図化しない
- 可視深さラインにかかるブレースを図化しない
- 軸組図・断面図に陰線を図化しない
- 軸組図・断面図に鉄骨ブレースを単線で図化する
- 軸組図・断面図にブレースを図化しない
- 切断位置ラインにかかるブレースを図化しない
- 可視深さラインにかかるブレースを図化しない

鉄骨ピン接合部、鉄骨露出柱脚部あき間隔: 1

切断面及び同一レベルで部材間の接続面の区分表現

杭省略表現

杭省略位置: 1.5 m

柱を区分する

下部杭まで表現

部材寸法表記

表記を省略 (伏図・軸組図・断面図)

部材寸法: 縮尺 1/ 50 以上が部材長さ 4 m 未満

伏図・断面図に部材偏心距離寸法を表記

偏心部材のみ表記する (伏図: 柱・梁・壁、断面図: 直交梁・直交壁)

軸組図・断面図に部材天端レベル寸法を表記

レベル移動部材のみ表記する。(梁・スラブ)

詳細設定

階表記の設定 ... 凡例の設定 ... ハッチングパターンを設定 ...

位置	チェック有無・数記入	備考
①	無	
②	-	
③	-	
④	-	
⑤	-	
⑥	-	RC材は非対応
⑦a	有	部材種類だけ区分
⑦b	-	軸組図には非対応
⑧	1.5	
⑨	無	
⑩	有	
⑪	-	
⑫	下図参照	

軸組図の凡例は、壁の構造スリットと梁継手マーク情報がある軸にのみ表示の可否が設定できます。

名称詳細設定

階名称 部材リスト名称一覧表 配筋位置名称

部材種類	部材リスト名称	伏軸用リスト名称(凡例)	凡例を使用
基準レベル	-	特記以外は下記による	<input checked="" type="checkbox"/>
スラブ/梁天端レベル	-	スラブ/梁天端レベル	<input type="checkbox"/>
柱	柱リスト	柱リスト	<input type="checkbox"/>
大梁	大梁リスト	大梁リスト	<input type="checkbox"/>
小梁	小梁リスト	小梁リスト	<input type="checkbox"/>
地中梁	地中梁リスト	地中梁リスト	<input type="checkbox"/>
ブレース	ブレースリスト	ブレースリスト	<input type="checkbox"/>
壁	壁リスト	壁リスト	<input type="checkbox"/>
スラブ	スラブリスト	スラブリスト	<input type="checkbox"/>
独立基礎	独立基礎リスト	基礎リスト	<input type="checkbox"/>
べた基礎	べた基礎リスト	べた基礎リスト	<input type="checkbox"/>
布基礎	布基礎リスト	布基礎リスト	<input type="checkbox"/>
鉄骨柱	鉄骨柱リスト	-	
鉄骨大梁	鉄骨大梁リスト	-	
鉄骨小梁	鉄骨小梁リスト	-	
鉄骨ブレース	鉄骨ブレースリスト	-	

OK キャンセル

※構造図面生成マネージャーの設定について、詳しくは下記をご覧ください。

操作の学習 > 基本操作編 > 構造図面の自動生成 > 軸組図の生成 >

7.オプション設定-構造図面生成マネージャー



02_ユーザースタイル

■伏図の設定_S造

位置	チェック有無・数記入	備考
①	無	
②	-	
③	-	
④	-	
⑤	-	
⑥	1	
⑦a	-	S材は非対応
⑦b	-	S材は非対応
⑧	有	部材寸法を非表示
⑨	-	
⑩	左下参照	
⑪	-	

※Drawingでは、スラブと梁のレベル段差をハッチングを用いて表現します。各階の基準レベルは0段目となります。基準レベルより1段高いレベル段差は「1段目」となり、低い段差は「-1段目」のハッチングパターンを適用します。ご自身で調整してお使いください。

※構造図面生成マネージャーの設定について、詳しくは下記をご覧ください。

操作の学習 > 基本操作編 > 構造図面の自動生成 > 伏図の生成 >

7.オプション設定-構造図面生成マネージャー



02_ユーザースタイル

■ 軸組図の設定_S造

位置	チェック有無・数記入	備考
①	無	
②	-	
③	-	
④	-	
⑤	-	
⑥	1	
⑦a	-	S材は非対応
⑦b	-	S材は非対応
⑧	1.5	
⑨	無	
⑩	有	
⑪	-	
⑫	下図参照	

軸組図の凡例は、壁の構造スリットと梁継手マーク情報がある軸にのみ表示の可否が設定できます。

部材種類	部材リスト名称	伏軸用リスト名称(凡例)	凡例を使用
基準レベル	-	特記以外は下記による	<input checked="" type="checkbox"/>
スラブ/梁天端レベル	-	スラブ/梁天端レベル	<input type="checkbox"/>
柱	柱リスト	柱リスト	<input type="checkbox"/>
大梁	大梁リスト	大梁リスト	<input type="checkbox"/>
小梁	小梁リスト	小梁リスト	<input type="checkbox"/>
地中梁	地中梁リスト	地中梁リスト	<input type="checkbox"/>
ブレース	ブレースリスト	ブレースリスト	<input type="checkbox"/>
壁	壁リスト	壁リスト	<input type="checkbox"/>
スラブ	スラブリスト	スラブリスト	<input type="checkbox"/>
独立基礎	独立基礎リスト	基礎リスト	<input type="checkbox"/>
べた基礎	べた基礎リスト	べた基礎リスト	<input type="checkbox"/>
布基礎	布基礎リスト	布基礎リスト	<input type="checkbox"/>
鉄骨柱	鉄骨柱リスト	-	<input type="checkbox"/>
鉄骨大梁	鉄骨大梁リスト	-	<input type="checkbox"/>
鉄骨小梁	鉄骨小梁リスト	-	<input type="checkbox"/>
鉄骨ブレース	鉄骨ブレースリスト	-	<input type="checkbox"/>

※構造図面生成マネージャーの設定について、詳しくは下記をご覧ください。

操作の学習 > 基本操作編 > 構造図面の自動生成 > 軸組図の生成 >

7.オプション設定-構造図面生成マネージャー

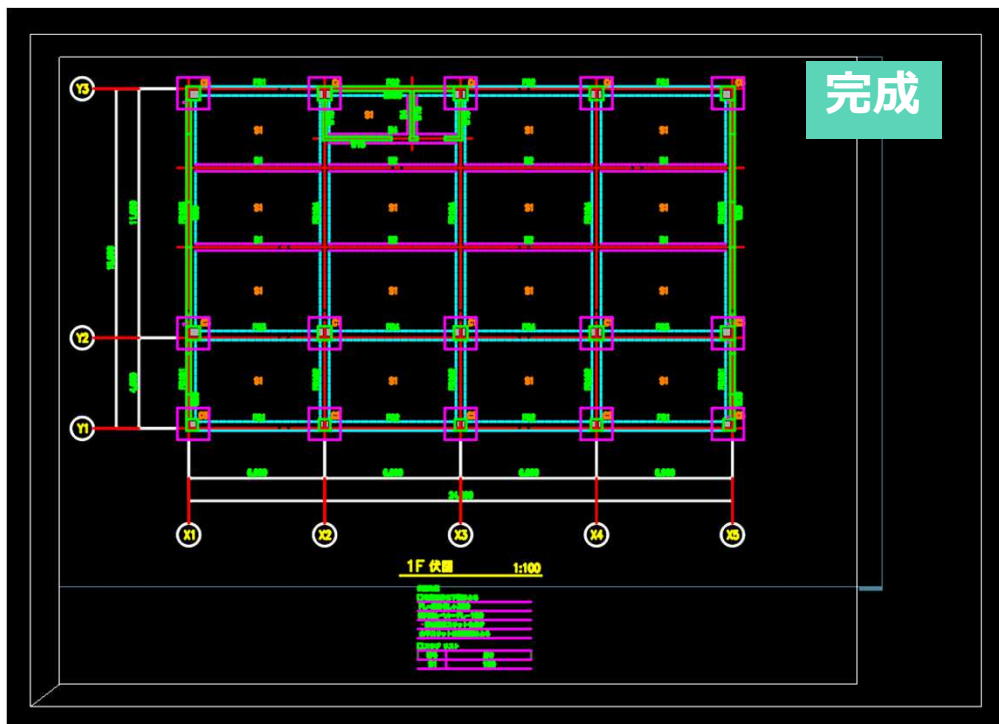
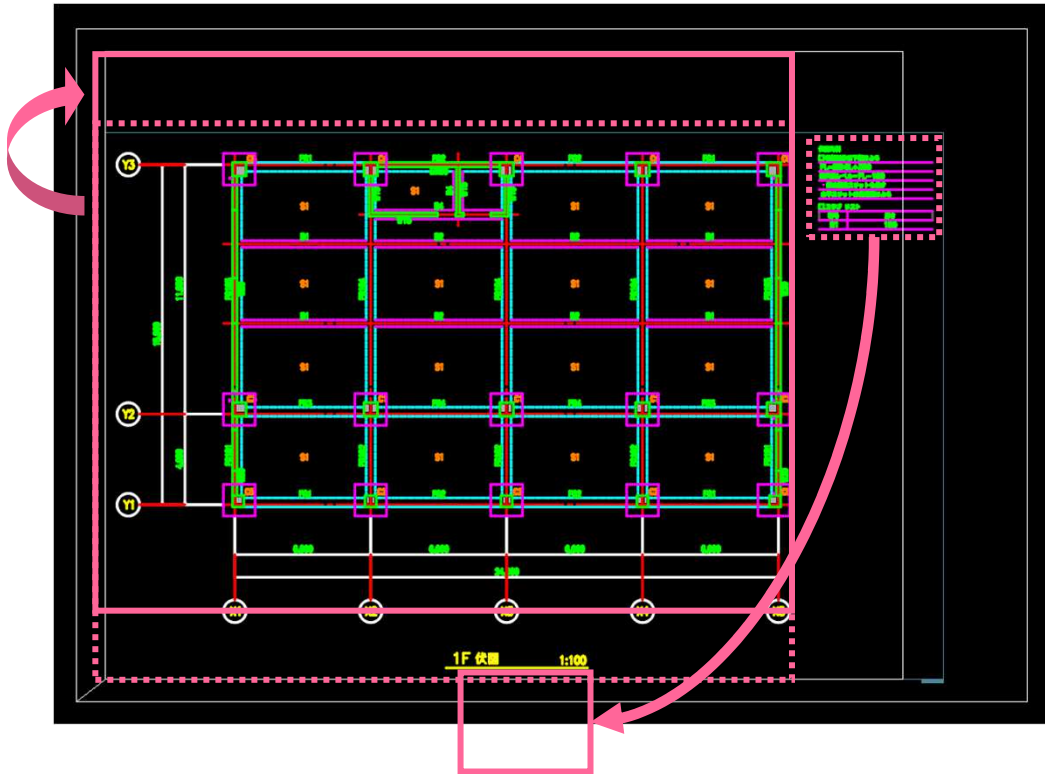


02_ユーザースタイル

レイアウト調整

■ 伏図の調整

[移動]コマンドを使用し、図面全体を上にも、凡例をタイトルの下に移動します。



※レイアウト調整について、詳しくは下記をご覧ください。

操作の学習 > 基本操作編 > 構造図面の自動生成 > 伏図の生成 > 4.レイアウト調整

以降は、CADモードに配置し、リタッチや印刷などの作業を進めてください。



02_ユーザースタイル

■ 軸組図の調整

①最上階の柱符号を移動します。②プロパティを使用し表示の有無を調整します。

①最上階の柱符号を移動

②最上階の梁をクリック>
ジョイントシンボルと
ジョイントの寸法の
表示の有無を[表示する]選択

②最上階以外の柱部材をクリック>
部材グループ表示の有無を
[表示しない]選択

完成

X1軸組図 1:100

※レイアウト調整について、詳しくは下記をご覧ください。

操作の学習 > 基本操作編 > 構造図面の自動生成 > 軸組図の生成 > 4.レイアウト調整

以降は、CADモードに配置し、リタッチや印刷などの作業を進めてください。